
スマブラ学校！

スマッシュ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

スマブラ学校！

【Nコード】

N2813Z

【作者名】

スマッシュ

【あらすじ】

『スマ村のみんなの生活』にて学校に出ていないのでこれは特別編と言う事になります！みんな！見てね！

クラスと先生

マスター「今日から学校を建てるぞ！」

全員「えー！ー！」

マリオ「代表で言うが、なぜ学校を建てるんだ？」

マスター「言つとくがこれは『スマ村のみんなの生活』から出している！だから本編では学校に行つてないが裏では学校に行つてる設定だ！」

マリオ「なるほど・・・」

クレイジー「建てたぞ！学校！」

マスター「おお！ありがとう！では、今からクラスとその教科を担当する人を発表をする！」

1組	2組	3組
マリオ	ルイーダ	ピーチ
リンク	ヨッシー	ゼルダ
カービィ	ディディー	ウルフ
フォックス	ファルコ	シーク
ピット	ポポ	ピチュー
ネス	ナナ	ピカチュウ
リユカ	プリン	ルカリオ
マルス	ロイ	アイク
レッド	メタナイト	ヤングリンク
		トウーンリンク

国語	クッパ
数学	デデデ
理科	ゲーム&ウォッチ
社会	スネーク
英語	ガノンドロフ

家庭科	オリマー
技術	ロボット
美術	ミュウツー
音楽	サマス
体育	ファルコン
保険	Dr. マリオ
環境	ドンキー

雑用係 ワリオ

マリオ「ワリオ・・・雑用ww」
ルイージ「笑えるね！」
ワリオ「ガビーン！」

マスター「じゃあ、教室へ行け！」
みんな「わー！ー！」

1組教室

マリオ「すごいな！」
リンク「ここを9人で勉強するんですね！」
カービィ「速く食堂へ行こうよ〜」
フォックス「待て待て！食堂は後からだ！」
ピット「椅子を決めようよ！」
ネス「この机と椅子にする！」
リユカ「僕は・・・これ」
マルス「最初の授業は明日からだね！」
レッド「服って普段着のままでもいいのかな？」

2組教室

ルイージ「やったー！これが僕達のクラスだよ！」

ヨッシー「この椅子がいいですね！」
ディディー「黒板も見えやすいよ！」
ファルコ「たったの9人か」
ポポ「ナナと同じクラスになれたー！」
ナナ「わーい！わーい！」
プリン「ここならたくさん歌えそう」
2組みんな「えっ！」
ロイ「あははは・・・冗談はやめてよ・・・」
メタナイト「そうだぞ！」

3組教室

ピーチ「あら、ゼルダ！」
ゼルダ「あつ！ピーチ！同じクラスなんですね！」
アイク「俺、窓際の椅子にする・・・」
ウルフ「まだ他の所見ていないぞ！」

20分後食堂

マリオ「楽しかったな！リンク！」
リンク「そうですね！マリオさん！」
フォックス「おい！カービィ！食堂に着いたぞ！」
カービィ「ご飯ー！」
マスター「待たせたな！料理を出さしてもらおう！並んでくれ！」
マリオ「キノコの定食！」
マスター「わかった！」
ルイーダ「本当にキノコ料理好きだね・・・」
マルス「フランス料理のフルコース！」
マスター「時間がかかるぞまてるか？」
マルス「まてるよ！」
アイク「焼肉定食・・・」
マスター「肉、本当に好きだな」

30分後

マスター「みんな勝手に食べていつていいぞ！」

みんな「いただきます！」

カービィ・ヨッシー「バクバクバクバクバク……」

マリオ「もっとゆっくり食べるよ！」

職員室

マスター「これから、お前達に先生をやってもらおう！」

サムス「私は音楽の先生」

ワリオ「ざ、雑用！？」

マスター「何か文句があるんですか？」

ワリオ「い、いや、なにも……」

クラスと先生（後書き）

ワリオ「なぜ俺様が雑用なんだ！」

スマッシュ「余ったから！」

ワリオ「なに！」

1組の1時間目「国語」(前書き)

マリオ「国語か」

リンク「頑張ろう！」

1組の1時間目「国語」

クツパ「授業を始めるのだ！」

マリオ「起立！礼！お願いします！着席！」

クツパ「よろしくな！では今から国語の授業を始める！早く教科書を出すのだ！」

リンク「これだな！」

クツパ「ムツ！カービィ、教科書は？」

カービィ「おなががすいたから、食べちゃった・・・」

クツパ「・・・食べるものじゃないぞ・・・わかった、予備をやるう・・・」

カービィ「ありがとう！」

クツパ「気を取り直して14ページを開ける！じゃあここをマルス読みなさい！」

マルス「えーと、詩だね！・・・」

クツパ「いい読み方だったぞ！」

マルス「ありがとうございます」

クツパ「じゃあ、ここに出る漢字は？」

マリオ「渦うずです！」

クツパ「正解だ！」

キンコンカンコンコン キンコンカンコンコン

クツパ「チャイムが鳴ったな終わりだ！」

マリオ「起立！礼！ありがとうございました！」

クツパ「ウム！」

1組の1時間目「国語」(後書き)

休み時間

マリオ「初めてだったけど案外よかったぞ!」

リンク「でも、ちょっと簡単すぎるんじゃないですか?」

スマッシュ「そうなんだよね・・・」

マルス「次は2組の授業だよ!」

2組の1時間目『数学』（前書き）

ルイージ「数学得意だよ！」

メタナイト「教科担当の先生は陛下だ」

2組の1時間目『数学』

キンコンカンコン

ルイージ「起立！礼！お願いしまーす！着席！」

デデデ「では、今から数学を始めるゾイ！いきなりだがルイージこれわかるか？」

$$-1+10''$$

ルイージ「答えは9です！」

デデデ「正解だ！これはどうだ？ロイ？」

$$-10x+(-10x)''$$

ロイ「答えは $-20x$ です！」

デデデ「そうゾイ！そうゾイ！では今から百マス計算をするゾイ！今回は掛け算だゾイ！」

ルイージ「ぼくの実力はなめたらいけないよ！」

デデデ「スタートゾイ！」

ルイージ「」

ロイ「わっ！間違えた！」

ファルコ「らくしうだぜ！」

ポポ「難しいよ！」

ナナ「そうよね！」

デデデ「仕方ないゾイ！わからないやつは足し算の百マスをするゾイ！」

3分後

ルイージ「出来たよ！」

ロイ「うそっ！」

ヨッシー「速すぎるでしょ！」

デデデ「ルイージ！終わったら答えの紙を渡すから答え合わせをするゾイ！ルイージ、3分30秒！」

ファルコ「出来たぜ！」

デデデ「ファルコ、4分！」

ロイ「ちよつと遅れたけど出来たよ！」

ヨッシー「私もです！」

デデデ「二人は5分30秒ゾイ！」

ルイージ「全問正解！」

ポポ「僕出来たよ！」

ナナ「私も！」

デデデ「二人は6分だゾイ！」

メタナイト「数には縁がないからな・・・」

プリン「終わらない・・・」

ディディー「終わったよ！」

デデデ「7分ゾイ！」

メタナイト・プリン「やつと出来た・・・」

デデデ「二人とも8分ゾイ」

キンコンカンコン

デデデ「チャイムが鳴ったゾイ！では号令だゾイ！」

ルイージ「起立！礼！ありがとうございました！」

2組の1時間目『数学』（後書き）

休み時間

ファルコ「ルイージ！速すぎるな！」

ルイージ「えへへへ」

ヨッシー「しかも速いかわりに答えも全問正解なんてね！」

ロイ「次回は3組だよ！」

3組の1時間目「社会」(前書き)

ピーチ「社会、なぜ、スネークなの？」
スマッシュ「知るか！」

3組の1時間目「社会」

キンコンカンコン

スネーク「では、挨拶！」

ピーチ「起立！礼！お願いします！着席！」

スネーク「では、歴史の教科書を出してくれ！」

ゼルダ「何ページですか？」

スネーク「20ページだ！」

ウルフ「卑弥呼のところだな！」

スネーク「じゃあ、やるぞ！卑弥呼はどんな人かな？」

シーク「占い師です」

スネーク「正解だ。では、卑弥呼がいた国は？」

アイク「邪馬台国・・・」

みんな「あつ！起きてた・・・」

スネーク「正解！」

アイク「ふん・・・」

ピーチ「スネーク先生！」

スネーク「なんだい？」

ピーチ「紀元前の所をまだ勉強してないんですけど・・・」

スネーク「・・・忘れてた・・・」

みんな「ええ！」

キンコンカンコン

スネーク「紀元前のことは次の時間から勉強する！では、おしまい！」

ピーチ「起立！礼！ありがとうございました！」

3組の1時間目「社会」(後書き)

休み時間

ピーチ「なぜ、忘れてたのかしら・・・」

ゼルダ「アホなのかしら・・・」

アイク「眠・・・」

ピカチュウ「次回は、作者が入学！」

全校の2時間目「学活」PLAT1（前書き）

放送「全校生徒にお知らせ！今から体育館へ来いよ！」

全校の2時間目「学活」PLAT1

マリオ「なんだよー！呼び出して！」

マスター「すまん！今日から作者達が学校に来るから呼んだんだ！」

ルイージ「納得したよ」

リンク「何人来るんですか？」

マスター「11人だ」

ピーチ「ええ！11人！？」

マスター「では、紹介するぞ！来なさい！」

ryouki「今日からこのスマブラ学校に来るryoukiです」

ゆうたん「みんな、おはよう！」

ほーき雲「勉強をしに来たよ！」

しら「この学校どんだけ費用使ったんだ？」

ギルバート「知るかそんなの！」

パルポン「ここに来たからには勉強しなくちゃな！」

瑞希 優羅「でも、ちよつと難しいかな・・・」

死神魔姫「早く教室が見たいな」

ピノ「そうだね！」

赤い小説家「早くこの学活終われー！」

スマッシュ「この小説を書いているスマッシュです」

マリオ「この小説の作者も出るんかい！」

スマッシュ「出てもいいじゃないか！」

マスター「では、教室に戻ってくれ！作者達は自分が選んだ教室に行って自己紹介をしてくれ！」

全校の2時間目『学活』PLAT2（前書き）

1組	担任	クッパ
2組	担当	オリマー
3組	担当	Dr.マリオ

全校の2時間目『学活』PLAT2

1組教室

クツパ「では、入ってきなさい！」

がらっ！

ほーき雲「改めましてこんにちわ！」

瑞希 優羅「みんな、これからよろしくね！」

死神魔姫「普通ぽいな・・・」

赤い小説家「まあ、いいじゃないですか！」

マリオ「4人か・・・」

リンク「2組が一番多いみたいですよ！」

ネス「よろしくお願いします！」

リユカ「勉強が出来そうな人がいっぱいだね・・・」

レッド「君も後からこういう風になれるよ！」

2組教室

オリマー「じゃあ、入ってきて！」

ガラリ

ryouki「よろしく！」

ゆうたん「頑張っていこう！」

しら「早く勉強をしよう！」

ギルバート「メタ様だ！」

スマッシュ「眠いよー」

ルイージ「案外、人気小説家がいるね」

デイディー「後で勉強を教えてもらおう！」

メタナイト（危ないかもしれないな・・・）

プリン「みんなー！私の歌聞いてくれる？」

みんな「ギョッ！やめてー！」

プリン「いつか歌わせてよ！」

スマッシュ「わかったよ！」

ポプ「でも、音楽の時間が怖いんじゃない？」

みんな「あっ・・・」

3組教室

Dr・マリオ「入ってきなさい！」

ガラッ！

パルポン「来たぞー！」

ピノ「僕たち2人だけですか・・・この教室にきた作者は・・・」

パルポン「暗くなるな！」

ピーチ「そうよ！紅茶飲んで！」

ピノ「おいしい！」

ピーチ「どういたしまして！」

ゼルダ「ピーチの紅茶はどんな人でも笑顔にすることが出来るんですね！」

ルカリオ「しかし、どの葉をいれてるんだ？」

ピーチ「それは企業秘密よ！」

ルカリオ「そうか・・・」

全校の2時間目『学活』PLAT2（後書き）

ポポ・ナナ「次回は！」

ピット「1組の3時間目だよ！」

1組の3時間目「理科」

ゲーム&ウオッチ「ソレデハ号令デス」

マリオ「起立！礼！お願いします！着席！」

ほーき雲「では、頑張りましょう！」

死神魔姫「生物 生物」

瑞希 優羅「がんばろう！」

赤い小説家「早くやりましょう！」

ゲーム&ウオッチ「ワカリマシタ、デハ、コレカラ生物ノ勉強ヲシマス」

リンク「生物ですか」チラ・・・

フォックス「なんだよ・・・」

ピット「この中で人間じゃないのはカービィとフォックスだけだよ・・・」

カービィ「僕は謎の生命体だね・・・」

リユカ「そこまで言っていないよ・・・」

マルス「どの辺かな？」

ゲーム&ウオッチ「せきつい動物ノコトデス」

ネス「セキツイ動物？」

マリオ「あれ？ネス。セキツイ動物のことわからないの？」

ネス「わからないよ」

ゲーム&ウオッチ「デハ、せきつい動物ノ意味ハナンデシヨウ？」

死神魔姫「背骨がある動物です！」

ゲーム&ウオッチ「正解デス。デハ、無せきつい動物は？」

マリオ「背骨がない動物だよ！」

ゲーム&ウオッチ「正解ダヨ。ンジャ、コレハ？せきつい動物ノ生物ハ何類デスカ？全テ答エテクダサイ」

リンク「えーと・・・哺乳類と鳥類と魚類と爬虫類・・・両生類入ったかな・・・」

ゲーム&ウォッチ「正解デス」

マリオ「案外簡単じゃないか！」

ゲーム&ウォッチ「デハコレハ？無せきつい動物ハ何類カナ？」

マルス「軟体動物と節足動物だったと思います！」

ゲーム&ウォッチ「正解デスヨ」

キンコンカーンコン

ゲーム&ウォッチ「ちやいむガ鳴リマシタネ、デハ、号令デス」

マリオ「起立！礼！ありがとうございます！」

1組の3時間目「理科」(後書き)

休み時間

リンク「どうでしたか？」

死神魔姫「生物の授業ができてよかったです！」

ほーき雲「生物は苦手です！」

瑞希 優羅「出来るだけがんばりたいです！」

赤い小説家「大変ですね」

マリオ「次回は」

リンク「2組の」

カービィ「3時間目の」

ピット「授業は」

ネス「保健だよ！」

2組の3時間目『保健』（前書き）

ルイージ「僕は保健かなり大丈夫だよ！」

2組の3時間目『保健』

ryouki「そろそろ勉強をするのか！」

Dr・マリオ「静かにしろ！それでは号令！」

ルイージ「起立！礼！お願いします！着席！」

しら「先生！教科書がありません！」

Dr・マリオ「んじゃワリオ！教科書を運んできてくれ！」

ワリオ「へいへい・・・なんで俺が・・・」

Dr・マリオ「そのかわり給料あるから静かにしろ！」

ワリオ「わかったよ・・・ブツブツ・・・」

ルイージ「へー、雑用のワリオは先生の副担当なんだ！」

Dr・マリオ「そうじゃないよ！ワリオは全教科に雑用として働かされてるんだ！」

ヨッシー「そうなんだ！」

Dr・マリオ「そのかわり給料は少ないがな」

みんな「はっはっは！」

ワリオ「持って来たぜ！」

Dr・マリオ「ありがとよ！もう、どつか行っていいぞ！」

ワリオ「へいへい・・・」

Dr・マリオ「それ！新しい教科書だ！」

しら「ありがとうございます！」

ギルバート「んで、どの辺をやるんだ？」

Dr・マリオ「えーと・・・24ページを開いてくれ！」

ルイージ「わかりました！」

ゆうたん「24ページ・・・24ページ・・・あつた！」

スマッシュ「ここは、ごみのことですね！」

Dr・マリオ「そうだ！今からここの勉強をする！じゃあはじめるぞ！ごみは何処に行く？」

ロイ「えーと・・・ごみ処理所と埋め立て地にいきます！」

Dr・マリオ「正解だ！」

ロイ「よし！」

プリン（早く音楽の授業になって欲しいな・・・）

ポポ「わからないよー！」

ナナ「そうよー！」

ryouki「うーん・・・」

しら「これがあれでそれがこうで」

キンコンカーンコン

Dr・マリオ「チャイムが鳴ったな！では、号令！」

ルイージ「起立！礼！ありがとうございました！」

Dr・マリオ「ああ」

2組の3時間目『保健』（後書き）

休み時間

ルイージ「今回は意外と簡単だった!」

ロイ「僕はちゃんと答えたからいいけど」

しら「最初の授業が保健とは・・・」

ryouki「大変ですね!」

プリン「次回は、3組の3時間目『技術』だよ」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2813z/>

スマブラ学校！

2011年12月27日21時53分発行